

- 学長巻頭言
- 看護学科トピックス／医療介護福祉学科トピックス
- キラリ賞／スポーツ大会／リベラルアーツ教育プログラム
- 大学体験型入試について／短歌受賞／国家試験結果と進路状況／川崎エコアクション／協会報告
- 新任教職員紹介／インフォメーション

看護

特集

川崎学園 岡山キャンパス セタ健康まつり



学長巻頭言

地域とつながるキャンパスを 目指して

学長 秋山 祐治



2022（令和4）年4月に岡山キャンパスでの校舎棟運用を開始して、はや2年余りが経過しました。一部の科目や病院実習等で松島キャンパスに通う日もありますが、教職員・学生ともに岡山キャンパスでの生活にすっかり慣れてきました。2023（令和5）年9月に開院した川崎医科大学高齢者医療センターとの間に広がる「こもれびの校庭」は、季節ごとに彩りを変えています。日差しを遮るように伸びた枝葉も相まって、この時期は街なかのオアシスとして憩いの空間となっています。

そんな「こもれびの校庭」を中心にして、7月6日（土）に医療短期大学、高齢者医療センター、総合医療センターの岡山キャンパス3施設が協力して、「七夕健康まつり」を開催しました。学園では、毎年10月に松島キャンパスを中心に川崎学園祭を開催していますが、岡山キャンパスでのこのような催しは初めてのことです。どんなイベントを実施するのか、誰に協力してもらうのかなど医療短期大学では副学長や事務長を中心に企画を検討し、3施設で話し合いを積み重ねた結果、医療短期大学では公開講座や進学相談、キッズコーナーなどを、高齢者医療センターではフレイル予防・健康体操などを、総合医療センターでは病院のお仕事紹介や病院探検ツアーなどを行うことになりました。更に、医療福祉大学からも協力を得て体験授業を行うなど、岡山キャンパス内に留まらない学園行事として実施することができました。

当日はどれくらいの来場があるか心配していま

したが、好天にも恵まれ600名あまりの参加がありました。公開講座や健康相談は比較的高齢の方が対象となりましたが、体験授業やキッズコーナーでは保護者とともに生徒・児童がたくさん来学し、普段の学内とは違った雰囲気になりました。七夕飾りには、それぞれ短冊を括り付けてもらいました。「おてつだいがじょうずにできますように」といった可愛いものから、「助産師になれますように」といった現実的なものまで、たくさんの願い事が笹の葉を彩りました。

来場者の中には、「近くを通ったことはあるが、医療短期大学のことは初めて知った」という声もありました。ホームページやSNSなどでの情報発信も大切ですが、やはり実際に足を運んでいただくことが大切だと痛感しました。もちろん、イベントの中身が重要なのは言うまでもありませんが、今回は教職員と多くの学生が協力してそれぞれの持ち場で頑張ってくれたおかげで、「楽しかった」「また来たい」といった声をたくさん耳にしました。この場をお借りして皆さんに感謝申し上げたいと思います。

教育や研究と並んで、大学の大切な役割の一つに社会貢献があります。看護や介護に関する情報発信のみならず、将来を担う子どもたちに医療福祉の魅力を伝えることも大切な活動だと考えています。地域とのつながりをキーワードに、次のイベントをみんなで楽しみながら企画したいと思いますので、その際にはどうぞ足をお運びください。

看護学科トピックス

学外研修

看護学科では、親睦や交流を深め自主的な行動を促す目的で、入学直後に学外研修を行っています。今年は4月20日（土）に、春の穏やかな気候の中、川崎医科大学 現代医学教育博物館と美観地区で行いました。

現代医学教育博物館では、ワークシートの問題を解きながら、体のしくみや病気の予防などの展示を見学しました。

その後、電車で美観地区へ移動し、歴史ある街並みを散策しながら交流を深めました。アイビスクエア内の工房ではお椀の絵付け体験を行い、学生同士で出来栄を披露しました。

新型コロナウイルス感染症が5類になって初めての学外研修ということもあって、屋外ではマスクをはずした交流も見られ、学生の笑顔が印象に残る研修となりました。

（看護学科 重田 崇之）



医療介護福祉学科トピックス

実習開始式

6月8日（土）に、医療介護福祉学科の実習開始式を行いました。新見副学長より「今までの知識をもとに利用者さんの生活背景を捉え、精一杯誠実に主体的に実習に臨んでほしい」と、激励の言葉が贈られました。その後、学生一人ひとりが実習に臨むにあたって「利用者さんの人生に寄り添い、笑顔につながる支援をしたい」、「利用者さんに誠実に向き合い、根拠ある日常生活支援を実践したい」などと、宣誓を行いました。3年生からは「利用者さんのできる力に目を向けて、たくさんの笑顔と出会いを大切にしていきたい」と、激励の言葉と花束が贈られました。また、淳風福祉会 特別養護老人ホーム若宮園の沖中 純子介護指導主任に、実習生の心がまえや学びのポイントなどについて介護福祉士の大先輩としての講話をしていただきました。学生たちは、意欲を持って実習に向き合うべく、決意を新たにすることができたと思います。

（医療介護福祉学科 横田 純子）



2024年度 第1回

公開講座報告

7月6日（土）に、「あらためて知りたい！認知症の方との関わり方ー地域での暮らしを支えるために、今あなたにできることー」というテーマで、2024年度第1回公開講座を大講義室において開催しました。「七夕健康まつり」と同時開催ということもあって、多方面から123名の方にご参加いただきました。

川崎医科大学高齢者医療センター部長の和田 健二教授による、認知症に関する政府の施策や取り組み、認知症の症状、当事者や家族の思いなどについての講義と、医療介護福祉学科講師の居村 貴子による、認知症の方との関わり方のポイントや地域で暮らす方を支えるために行っている学科の取り組みについての説明を行いました。

参加者の方々からは、「認知症の方との接し方を見直すことができた」「認知症の現状ととりまく環境が変化していることが理解できた」といった感想を多くいただきました。

（医療介護福祉学科 居村 貴子）



川崎学園 岡山キャンパス

セタ健康まつり

晴天に恵まれた7月6日(土)、岡山キャンパス3施設で「セタ健康まつり」を開催しました。午前10時半には、来客を出迎えるように飾られたセタ飾りの下、「公開講座」の受付を開始しました。「病院のお仕事紹介」や「キッズコーナー」は家族連れの方で賑わい、「健康チェック」や「こもればカフェ」には地域の方が多く参加されました。閉会までに、600名を超える方々にご来場いただきました。

ご来場いただいた方に行ったアンケートでは、「学生や教職員の対応が笑顔にあふれ親切で優しかった」、「どのコーナーも楽しく、説明が分かりやすく丁寧だった」、「施設が清潔できれいだった」、「来年もぜひ開催してほしい」といった感想をいただきました。ほとんどの方が好意的な意見を書いてくださり、来年の開催に向けた期待も感じられました。

来場者対応などについて、十分な打ち合わせは行えていませんでしたが、このような高い評価をいただけたことは、医療福祉に携わる学生や教職員の意識の高さ、川崎学園の連携の強さ、実践力の高さの賜物だと感じました。

開催イベント一覧

1. 公開講座
2. 病院のお仕事紹介
3. フレイル予防・健康体操
4. 体験授業(小高学年・中・高生)
5. 病院探検ツアー
6. 健康チェック・相談コーナー
7. ① 進学相談コーナー
② 医療短大「大学体験型」イベント
8. キッズコーナー(小学生まで)
9. こもれば(認知症)カフェ
10. キッチンカーコーナー

病院のお仕事紹介

医療福祉の11職種について、総合医療センターで働く現役の専門家たちが、子どもたちにも分かりやすく、楽しく紹介しました。

医療介護福祉士の紹介



体験授業

(対象: 小学生高学年から高校生)

本学と医療福祉大学が養成する職種の中から、8職種の体験授業を行いました。学生たちも日頃の学習の成果を存分に発揮し、生徒・児童たちへの対応に務めました。

看護師 救急救命士 健康運動指導士
医療介護福祉士 作業療法士 視能訓練士
管理栄養士 医療福祉デザイン

看護師

「身体の音を聴いてみよう!」というテーマで、楽しいクイズの後、心音や血流音を聴いていただき、ピンセットを使ったゲームをしていただきました。



医療介護福祉士

「来て見て触れて-あなたの力が誰かのために-」というテーマで、小さな力で大きな人を動かす「ボディメカニクス」についてお話しし、体験していただきました。電動車イスやリフトの実習も体験していただきました。



健康チェック・相談コーナー

高齢者医療センターの1階で、学生たちが実習で身につけたスキルを生かし、健康チェックを行いました。

体組成測定、バイタルサイン測定、血糖測定、血管年齢測定、脳年齢測定、ストレスチェック、健康相談、介護相談、聞こえの相談



キッズコーナー

子どもたちにたくさん遊んでもらおうと、学生主体のキッズコーナーを設けました。子どもたちは学生と工作をしたり、スタンプラリーで学内をまわるなど楽しいひとときを過ごしました。子どもたちだけでなく保護者の方々にも好評でした。



- ①目のしくみを作ろう
- ②飛び出せヒーローばい菌退治
- ③ボイスチェンジャーを作ろう
- ④風船電話を作ろう
- ⑤バルーンアートで遊ぼう
- ⑥スタンプラリー



こもれび(認知症)カフェ

地域包括支援センターから認知症カフェの紹介があり、その後、地域の方と一緒に認知症マップや日めくりカレンダーを作ったり、セタの短冊に願いごとを書いていただきました。



キッチンカーコーナー

大きなかき氷やスイーツ、ピザやメロンパンなどのキッチンカーは大盛況でした。



2023年度 年間キラリ賞表彰式



4月4日（木）に2023年度年間キラリ賞の表彰式が行われました。この賞は学業に優れるだけでなく、様々な社会活動を通して社会人基礎力を身につけた医療福祉人として、他の学生の模範となるような学生に贈られます。昨年度の活動を評価し、各学科・各学年から学生が選出されました。卒業前に表彰された昨年度の3年生をのぞく、1・2年生が表彰され、秋山 祐治学長より表彰状と副賞が授与されました。

看護学科

1年生	花井 美紀	2年生	井上 琴心
	江角 彩華		守時 光美
	西岡 愛佳		板垣 萌果

医療介護福祉学科

1年生	山下 優衣	2年生	上山 友貴美
-----	-------	-----	--------

＊2023年度の学年で表記しています。

2024 年度



スポーツ大会



5月18日（土）に、本学体育館において学友会主催のスポーツ大会が開催されました。今年は男女混合チームによるドッジボールが行われ、各学科から合わせて13チーム、137名が参加しました。ゲームは10名1チームのトーナメント戦で行われ、敗者復活戦も行われました。最初は遠慮がちだった投球も白熱してくると力強く速くなり、コート内外を所狭しと走り回る学生や、勢いよく飛んでくるボールを果敢にキャッチする学生などで、広い体育館が狭く感じられるほどでした。周囲の学生からも元気な声援や歓声があがり、勝敗にかかわらず盛り上がりました。大会の最後には企画・運営にあたった学友会執行部のメンバーが拍手でねぎらわれ、温かいムードで締めくくられました。

（学生生活支援委員会 黒田 裕子）



2024年度リベラルアーツ教育プログラム

リベラルアーツとは日本語に翻訳すると「一般教養教育」となり、「専門教育」を学ぶ前段階で学修するものという捉え方をされてきました。しかし、近年、急速なテクノロジーの発展やグローバル化によって、社会がより複雑化し、専門領域に特化した知識・実践力だけでは十分とは言えない状況になってきています。そこで、幅広い学問の視点を身につけ、さまざまな角度から物事を考えられる柔軟な思考や、課題に挑戦していける資質や能力を育むためのリベラルアーツ教育が、大学教育として求められています。

本学では正課として「保健医療福祉概論」、「文章表現」、「健康体育基礎演習」、「基礎英語」及び「数理・データサイエンス教育プログラム」から構成される授業科目を開設しています。また、正課外では学内外から経験豊富な講師陣を招き、社会性・人間性・創造性等を育む各種講座を開講しています。同時に入学時、1年後、2年後と継続して「プレースメントテスト」を実施し、学修成果を確認しています。本学では、これらを合わせてリベラルアーツ教育プログラムと位置づけています。（教務委員会）

正課外の各種講座

テーマ		内 容
社会性	消費者教育	消費者被害防止講演会
社会性	情報モラル	SNSと上手につきあうために
創造性、発信力	海外研修	海外研修オリエンテーション
社会性	安全な社会生活	大学生が巻き込まれやすいトラブル防止、交通事故防止
人間性	メンタルヘルス	充実した大学生活のためのメンタルヘルス
社会性	裁判員制度	裁判員制度について
人間性	被害者理解	交通事故遺族の話
創造性、発信力	コミュニケーション力	社会人基礎力を高めるコミュニケーション講座
人間性	多様性への理解	LGBTQ
社会性	年金制度	年金講話

大学体験型入試 について

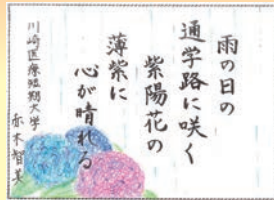
2025年度入試から、大学の理念と教育理念のもと、アドミッション・ポリシーに適う人材を広く受け入れるため、新たな入試方式を設けました。大学体験型入試はオープンキャンパスや公開講座等本学の大学体験型イベントに参加して学科が出す課題等に取り組み、認定基準に達していると学科が認めた場合に「大学体験型入試資格証明書」を発行するものです。それにより、総合型選抜入試、または学校推薦型選抜前期入試に出願できます。入試当日は面接（口頭試問含む）のみで、基礎学力確認テストはありません。本学で学びたいという、強い意志のある方にチャレンジしてもらいたいと考えています。（入試実行・広報活動推進委員会）

◇日本語に関する取り組み◇ 短歌受賞のお知らせ

2023年度第29回「前田純孝賞 学生短歌コンクール」（兵庫県新温泉町などが主催、選者は歌人の佐佐木 幸綱さん）に、「文章表現」受講の看護学科の学生が応募し、2人が入選しました。受賞者とその作品は次の通りです。

雨の日の通学路に咲く紫陽花の薄紫に心が晴れる
新温泉町長賞 看護学科2年 赤木 智美

八月のある晴れた日にやってきた我が家の子犬三キロになる
神戸新聞社賞 看護学科2年 森 美優



2023年度 国家試験結果と進路状況

3月末に2023年度国家試験合格発表があり、結果は下表のとおりでした。教員の熱心な指導と学生の努力により看護学科は全国合格率を上回る結果、医療介護福祉学科は合格率100%でした。

就職については、就職希望者117名全員が就職し、就職率は100%、進学については、国立大学へ2名、私立看護系大学へ1名が進学しました。

	看護学科	医療介護福祉学科
試験	看護師	介護福祉士
試験日	2月11日	1月28日
合格発表日	3月22日	3月25日
全国平均(%)	87.8	82.8
合格率(%)	93.2	100

地球温暖化対策ワーキンググループだより No. 49 川崎エコアクション エコライフ

地球環境を守るうえで、「ゴミの分別」は欠かすことができません。岡山市では、令和6年3月から家庭ゴミのプラスチック資源の分別回収が始まり、従来の週2回の燃えるゴミの回収に加えて、プラスチック資源の回収が週1回行われることになりました。これに伴い、私もゴミの分別を意識して、識別マークを確認するようになりました。そうすることで、暮らしの中でプラスチック資源が多いことや、ゴミの減量には分別回収が重要であるということを改めて認識できました。一人ひとりがゴミの分別に対する意識を変えることで、ゴミの量を減らしながら資源を生かすことができ、地球環境を守ることに繋がると 생각합니다。（医療介護福祉学科 時弘 里紗）

協会 報告

令和6年度 川崎医療短期大学 協会役員

会長 戸田 佑紀子（看護学科3年）
副会長 西 美由紀（看護学科2年）
副会長 秋山 祐治（川崎医療短期大学学長）

監事 山下 潤（医療介護福祉学科2年）
監事 樋口 ゆかり（医療介護福祉学科1年）
評議員 光畑 美希（医療介護福祉学科3年）
評議員 蓮岡 実（看護学科1年）

※（ ）内の学科・学年は学生の所属

他 学内評議員5名

令和5年度収支決算書及び令和6年度収支予算書

4月3日の入学式終了後に開催された令和6年度協会総会において、下表の令和5年度収支決算書及び令和6年度収支予算書が承認されました。これにより、今年度も学生の皆さんの学習、福利厚生、学生生活及び進路等に関する諸活動についての支援が行われます。

令和5年度 川崎医療短期大学協会収支決算書

一般会計 (円)			
収	入	支	出
会費	3,150,000	学生研修助成費	697,594
前年度繰越金	5,407,236	厚生福利費	794,732
雑収入	0	学生生活指導費	1,024,000
		進路指導助成費	550,000
		渉外費	20,000
		事務費	53,088
		雑費	4,895
		予備費	60,000
		次年度繰越金	5,352,927
合 計	8,557,236	合 計	8,557,236
特別会計 (円)			
収	入	支	出
前年度繰越金	6,313,430	次年度繰越金	6,313,555
雑収入(預金金利)	125		
合 計	6,313,555	合 計	6,313,555

令和6年度 川崎医療短期大学協会収支予算書

一般会計 (円)			
収	入	支	出
会費	2,910,000	学生研修助成費	775,000
前年度繰越金	5,352,927	厚生福利費	970,000
		学生生活指導費	710,000
		進路指導助成費	660,000
		協会運営費	137,000
		予備費	510,927
		特別会計への繰出金	4,500,000
合 計	8,262,927	合 計	8,262,927
特別会計 (円)			
収	入	支	出
前年度繰越金	6,313,555	次年度繰越金	10,813,663
一般会計からの繰入金	4,500,000		
雑収入	108		
合 計	10,813,663	合 計	10,813,663

※特別会計は、教育・実習のための施設設備及び学生のために特に必要なものを備えることを目的とした積立金です。

主要行事（9月～3月）

9月	19日	医療介護福祉学科 ノーリフティングケア研修
	20日	防災訓練
	24日	医療介護福祉学科3年地域介護実践実習（～10/25）
	//	後期授業開始
10月	5日	総合型選抜入試
	19日	学園祭・オープンキャンパス（医療福祉大学にて）（～20日）
	20日	第2回公開講座
	26日	看護学科2年継灯式・保護者会
	28日	医療介護福祉学科2年介護実習Ⅱ（～11/29）
11月	1日	看護学科1年基礎看護学実習Ⅰ（～9日）
	16日	学校推薦型選抜前期入試
	18日	看護学科2年基礎看護学実習Ⅱ（Bクラス～12/3）
	26日	医療介護福祉学科1年介護実習Ⅰ-2（～12/19）（毎週火～木曜日）
12月	4日	看護学科2年基礎看護学実習Ⅱ（Aクラス～21日）
	13日	学校推薦型選抜後期入試（～14日）
	21日	学友会クリスマスイベント
1月	18日	医療介護福祉学科2年実習事例報告会
	20日	川崎学園防災の日
	26日	第37回介護福祉士国家試験
	27日	後期定期試験（看護学科最高学年～29日）
2月	28日	後期定期試験（医療介護福祉学科最高学年～30日）
	1日	一般選抜前期入試（～2日）
	3日	後期定期試験（～14日）
	16日	第114回看護師国家試験
3月	15日	医療介護福祉学科2年保護者会
	17日	在学生健康診断（～19日）
	8日	一般選抜後期入試
	15日	卒業証書・学位記授与式
3月	23日	3校合同オープンキャンパス
	27日	在学生健康診断（レントゲン撮影・尿検査）（～28日）

2024年度 公開講座

2024年度 第2回 川崎医療短期大学 公開講座

運動の秋！生活習慣病の予防に運動を上手に取り入れよう
～臨防協会の秋～

2024年 **10月20日（日）**
10:00～11:30（開場9:30）

会場 川崎医療短期大学 大講義室
岡山市北区中山下二丁目1番70号

対象 高校生・一般
講師 掛屋 純子（川崎医療短期大学 看護学科 准教授）

参加無料（事前申込制）
定員100名
※定員に達し次第、締め切ります

申込方法

専用の申込みフォーム（Googleフォーム）、または電話・FAXでお願いします。

●電話・FAX
TEL: 086-201-5333
FAX: 086-201-5676
受付窓口：川崎医療短期大学 公開講座係

受付時間

	平日	土曜日
	9:00～16:30	9:00～12:00

※FAXでお申し込みの場合は、参加希望日、申込者氏名・氏名ふりがな・電話番号をご記入のうえ送信してください。

参加にあたってのお願い

●風邪症状など体調不良の方はご遠慮ください。

新任教職員紹介 新しく本学の仲間になった教職員の方々をご紹介します。

■ 平本 美津恵 看護学科 特任教授



人に真摯に向き合い、意欲をもって看護ができる人材を育てたいと思います。睡眠・食事・運動は、看護する私たちにも重要です。皆さんが、健康な体と精神で素敵な看護師になれるよう支援していきます。

■ 安木 信子 看護学科 講師



病院・訪問看護・医福大の勤務経験を生かし、看護の魅力ややりがいを皆さんに伝えていきたいと思っています。臨地実習や国試勉強は自分との闘いですが、自分が成長できるチャンスと捉え、共に頑張りましょう！

■ 奥山 紗矢 看護学科 助教



小児科病棟の臨床経験を生かし、患児やその家族に寄り添う看護の難しさややりがい、そして楽しさをお伝えできたらと思います。教員としてまだまだ未熟ですが、学生の皆さんと一緒に日々成長していきたいです。

■ 志摩井 祥子 看護学科 助教



看護師としての病院勤務経験を生かし、看護の魅力を楽しく皆さんに伝えたいと思っています。臨地実習を担当します。一緒に学び、考え、成長していきたいでしょう。

■ 門田 理恵 看護学科 助教



看護師としてのこれまでの経験を生かし、看護の奥深さ、楽しさ、難しさや魅力を伝えていきたいと思っています。授業や実習を通して私自身も皆さんと共に成長していきたいと考えています。看護のあり方を探求していきます。

■ 雪吉 由美 事務室 事務職員



6月に川崎医療福祉大学から異動してまいりました。学生さんの学生生活のサポートができればと思っています。困った時は、事務室でお気軽にお尋ねください。

2024年度 補助金・助成金の採択状況

研究代表者	看護学科 掛屋 純子
名称	科学研究費助成事業 若手研究 『前立腺がん患者のService Gap尺度の開発と信頼性・妥当性の検討』
研究代表者	医療介護福祉学科 常国 良美
名称	科学研究費助成事業 基盤研究(C) 『成人期以降の在宅重症心身障がい者を介護する家族の望む看取りを促す看護実践プロセス』
研究代表者	医療介護福祉学科 時弘 里紗
名称	公益財団法人川崎医学・医療福祉学振興会 教育研究助成 『業務用シューズの選び方及び満足度とシューズの提案』
研究代表者	看護学科 三宅 映子
名称	公益財団法人川崎医学・医療福祉学振興会 地域連携・交流助成 ①認知症サポーター養成講座・交流会 ②認知症サポーターステップアップ講座 ③チームオレンジの交流会

川崎医療短期大学学報

「若きいのち」（115号）

2024年9月発行

編集発行：広報誌等作成ワーキンググループ

熊野 一郎（看護学科・責任者）

見尾 久美恵（看護学科）

時弘 里紗（医療介護福祉学科）

雪吉 由美（事務室・書記）

写真協力：二葉写真館

編集：友野印刷株式会社

皆さんからのご意見・ご要望をお待ちしております。

〒700-0821 岡山市北区中山下二丁目1番70号

TEL 086-201-5333（代表）

Eメール：kouhou@jc.kawasaki-m.ac.jp

ホームページ https://j.kawasaki-m.ac.jp

OPEN CAMPUS 2024

2024年 オープンキャンパス／放課後キャンパスツアー 開催スケジュール

オープンキャンパス

●キャンパスショーケース

（受付：川崎医療福祉大学（倉敷市）にて）

開催日時	
10月19日（土）	10:00～15:00
10月20日（日）	学園祭同時開催

●合同オープンキャンパス

（受付：川崎医療福祉大学（倉敷市）にて）

川崎医療短期大学・川崎医療福祉大学・ 川崎リハビリテーション学院	3校合同開催
開催日時	
3月23日（日）	9:30～15:00

◆体験・模擬講義、入試概要説明、入試相談など、豊富なコンテンツ！

◆参加された方に記念グッズなどプレゼント！

合同オープンキャンパスは・・・

◆当日JR中庄駅から往復無料バス運行

◆駐車場あり

オープンキャンパスが事前申込制になる場合がありますので、事前にホームページ等でご確認ください。

いってみよ！放課後キャンパスツアー

お一人でも、友達と一緒にでも！気軽に放課後にちょっと寄り道してみませんか。スタッフが校内をご案内します。

◆開催時間は16:00～17:00、17:00～18:00。各回3組ずつ。
◆ご希望の開催日3日前までに本学ホームページからご予約ください。

開催日	10/9（水）	10/30（水）
	11/13（水）	11/20（水）

編集後記

医療短期大学の岡山キャンパス移転から2年が経ちました。昨年9月には高齢者医療センターが完成し、緑豊かな「こもれびの校庭」も整備され、岡山キャンパスの環境はさらに充実しました。本号では、7月に総合医療センターを含む岡山キャンパスの3施設合同で開催された「七夕健康まつり」を特集しています。このイベントには地域の方を招待し、教職員や学生が一丸となって大いに盛り上がりしました。酷暑の中でしたが、在学生や卒業生はこれまでに習得したスキルを駆使して、懸命に役割を果たしていました。その姿と来場者の笑顔に、地域貢献の意義を改めて実感することができました。

最後になりましたが、本号の発行に際し、締切までの時間が限られていたにも関わらず快くご寄稿いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

（看護学科 熊野 一郎）